

平成 30 年度 コンテンツ産業新展開強化事業  
(我が国コンテンツの海外展開を図るための多様な資金調達手法に関する検証事業)

## OPTION AND PURCHASE AGREEMENT

---

虎ノ門協同法律事務所 弁護士  
大橋 卓生

## 目 次

1. はじめに .....	2
2. OPTION AND PURCHASE AGREEMENT サンプルとその解説.....	2
OPTION AND PURCHASE AGREEMENT サンプル.....	2
Article 1. DEFINITION OF “WORK”:	3
Article 2. GRANT OF OPTION:	3
Article 3. EXTENSION OF OPTION:	4
Article 4. EXERCISE OF OPTION:	5
Article 5. PENDING EXERCISE OF OPTION:	5
Article 6. GRANT OF RIGHTS:	6
Article 7. PURCHASE PRICE:	7
Article 8. ADDITIONAL COMPENSATION:	8
Article 9. CREDITS:	8
Article 10. RESERVED RIGHTS:	9
Article 11. RIGHT OF FIRST NEGOTIATION:	10
Article 12. RIGHT OF LAST REFUSAL:	10
Article 13. NO OBLIGATION TO PRODUCE:	12
Article 14. REPRESENTATIONS AND WARRANTIES:	12
Article 15. REMEDIES:	13
Article 16. MISCELLANEOUS:	14

## 1. はじめに

日本において原作を使用した映画を製作する場合には、オプション契約を締結するケースが増えてきていますが、独占的な検討期間だけを定めて、対価を定めない簡素な内容で、オプション権行使後の原作使用許諾契約の内容については別途協議するというパターンも多く見られます。

これに対して、米国では原作を使用した映画を製作する場合には、オプション契約の締結が前提となっており、その契約内容には、オプション権行使後の権利取得（原作使用）の条件も含んで定めるのが一般的となっています。

本稿では、America Bar Association がインディペンデントのプロデューサー向けに提供しているオプション契約のサンプルをもとにして、米国におけるオプション契約の概要について解説を行っています。

なお、本契約書サンプルはあくまでもひとつの例であり、このまますべてのケースで使用できるものではありません。実際に契約交渉や取引を行う際には、弁護士などの専門家にご相談のうえ、それぞれの要件にあった契約書を作成して使用するようになしてください。

## 2. OPTION AND PURCHASE AGREEMENT サンプルとその解説

### OPTION AND PURCHASE AGREEMENT サンプル

**THIS AGREEMENT**, effective as of XXXXXX, XXXX, is made by and between **[NAME OF PRODUCER]** (“Producer”) whose address is **[PHYSICAL ADDRESS]** and **[NAME OF OWNER]** (“Owner”) whose address is **[PHYSICAL ADDRESS]** concerning the rights to a XXXXXX [e.g., book, play, unpublished story] entitled “XXXXXX” and the materials upon which it is based. The following terms and conditions shall apply:

- 契約書のタイトルで契約内容が決まるものではありませんが、内容に沿って適切・簡潔なタイトルとするのがよいでしょう。
- 前文は、契約内容ではありませんので、簡潔に、当事者を記載し、どのような内容の契約を取り交わすかを明記すればよいでしょう。
- この前文では、当事者の氏名・名称及び住所、原作の種類（小説、演劇台本、未公表の物語など）とタイトルを明記しています。また、ここでは製作会社を“PRODUCER”、原作者を“OWNER”と呼称しています。

- 前文に記載される日付が契約締結日となります。

### **Article 1. DEFINITION OF “WORK”:**

For purposes of this Agreement, “Work” means the XXXXXX [book/play/magazine article] entitled “XXXXXX” written by XXXXXX and any and all other literary materials, titles, themes, formats, formulas, incidents, action, story, dialogue, ideas, plots, phrases, slogans, catchwords, art, designs, compositions, sketches, drawings, characters, characterizations, names, and trademarks now contained therein, as well as such elements as may at any time hereafter be added or incorporated therein, and all versions thereof in any form.

契約の対象となる原作を“WORK”として定義しています。契約書によっては“PROPERTY”と表現されることもあります。

原作を特定するために、原作の種類（小説、演劇台本、雑誌の記事等）、タイトルとその作者を明記しています。また、契約の対象となる原作の内容として原作に含まれる一切の要素（タイトル、テーマ、フォーマット、出来事、アクション、ストーリー、対話、アイデア、プロット、フレーズ、スローガン、アート、スケッチ、キャラクターや名称など）を含むものとして「WORK」を定義しています。なお、“as well as such elements as may at any time hereafter be added or incorporated therein, and all versions thereof in any form.”の部分で、以後追加された要素やすべてのバージョンを含むものとしていますが、これは原作の続編など原作から派生する作品を含む定義となるため注意が必要です。

### **Article 2. GRANT OF OPTION:**

In consideration of the mutual promises contained herein, and the payment to Owner of \$ XXXXXX (the “Option Price”), which shall be applicable against the Purchase Price, Owner hereby grants to Producer the exclusive, irrevocable right and option (the “Option”) for XX months (the “Option Period”) to acquire the exclusive motion picture, television, videocassette, and all subsidiary, allied, and ancillary rights in and to the Work pursuant to the terms set forth below.

オプション権の付与とその対価の支払について合意しています。

オプション権は、次条以下の定めに従って、原作を独占的に劇場映画化、テレビ化、ビデオ化及びその他一切の付随的な権利を獲得するため、一定期間（オプション期間）、独占的な権利及びオプションを付与するというものです。オプション期間は、12 カ月から 18 カ月が一般的で

す。また、オプション権の対価は、購入価格（PURCHASE PRICE）に充当することが明記されています。

### Article 3. EXTENSION OF OPTION:

- (a) Producer shall have the right to extend the Option Period for one (1) period of XX months for \$ XXXXX which shall be non-applicable against the Purchase Price. For the right to the extension of the first Option Period there must be one of the following:
- (i) letter of commitment to direct from an established director;
  - (ii) the project is set up at a company, major studio, or mini-major studio able to fund the project;
  - (iii) substantial negotiations in progress for complete financing of the film;
  - (iv) letter of commitment to act in the film from one star;
- or
- (v) a full-length feature-film script has been completed.
- (b) Producer shall have the right to extend the Option Period for one (1) additional XX month period for \$ XXXXX which shall be non-applicable against the Purchase Price. In order to have a right to a second extension, Producer must secure at least two (2) of the above five (5) items.

オプション期間の延長について定めています。

第 2 条に定めたオプション期間で判断がつかない場合には、この規定に基づいてオプション期間を延長することができます。(a) (b) と都合 2 回のオプション期間の延長が規定されていますが、オプション期間を延長するための条件として、追加の対価の支払及び次のいずれかに該当することが必要とされています。

- (i) 確定した監督からの誓約書があること
- (ii) プロジェクトに対して資金提供ができる会社、大手スタジオまたは準大手スタジオによってプロジェクトが成立すること
- (iii) 映画製作費全額の資金調達のために進行中の具体的な交渉があること

- (iv) 1人のスター俳優から映画で演技する旨の誓約書があること
- (v) 完全版の長編映画の脚本が完成したこと

最初のオプション期間の延長 ((a)の場合) は、上記5つのうちいずれか1つに該当すればよく、2回目のオプション期間の延長 ((b)の場合) は、上記5つのうちいずれか2つに該当する必要があります。オプション期間の延長は、原作者にとって作品の利用が制限されるため、単に対価の支払のみでなく、映画化の可能性があることを条件としているものと思われます。

また、オプション期間延長のための対価の支払は、いずれの場合でも購入価格 (PURCHASE PRICE) に充当できないとされています。

#### **Article 4. EXERCISE OF OPTION:**

Producer may exercise this Option at any time during the Option Period, as it may be extended, by giving written notice of such exercise to Owner and delivery to Owner of the minimum Purchase Price as set forth below. In the event Producer does not exercise said Option during the period as it may be extended, this Agreement shall be of no further force or effect whatsoever. All rights granted hereunder become property of Owner. Upon exercise of the Option, Producer shall have the right to file the Assignment, Exhibit A, with the Copyright Office.

オプション権の行使について定めています。

第1文では、オプション権の行使は、原作者に対し、オプション期間（延長した場合、延長期間を含む）中に、書面を交付し、かつ最低購入価格を提供して行うものとしています。また、第2文では、製作会社がオプション権を行使しない場合は、オプション期間が経過すれば契約終了となり、第3文でこの契約に基づいて付与された権利は原作者に帰属することが明記されています。

なお、第4文で、オプション権を行使した場合、製作会社は、米国著作権局に譲渡に関する書類を提出する権利を有することが明記されています。ここで別表 (Exhibit) A として添付される書類は、米国著作権局所定の申請書類 (FORM DCS) になります。

#### **Article 5. PENDING EXERCISE OF OPTION:**

Producer shall have the right to engage in all customary development and pre-production activities during the Option Period as it may be extended.

オプション期間中に、製作会社がどのような活動をできるのかについて定めています。

“all customary development and pre-production activities” は、映画の企画開発段階で

行われる開発・準備行為を対象としており、例えば、プロットや脚本の執筆、監督、製作スタッフの雇用、主要キャストの配役などが該当します。

#### **Article 6. GRANT OF RIGHTS:**

Effective upon Producer's exercise of the Option, Writer hereby exclusively sells, grants and assigns to Producer, Producer's successors, licensees and assignees all rights in and to the Work not reserved by Writer, throughout the universe, in perpetuity, in any and all media and by any means now known or hereafter devised, including, without limitation, all forms of theatrical and non-theatrical distribution and exhibition (including without limitation, free broadcast, pay television, cable, subscription, pay-per-view, video-on-demand, DVD and Internet), including without limitation the following: all motion picture rights, including the right to make remakes, new versions or adaptations of the Work or any part thereof; to make series and serials of the Work or any part thereof; the right, for advertising and publicity purposes only, to prepare, broadcast, exhibit and publish in any form or media, any synopses, excerpts, novelizations, serializations, dramatizations, summaries and stories of the Work, or any part thereof; and all rights of every kind and character whatsoever in and to the Work and all the characters and elements contained therein.

オプション権が有効に行使された場合、原作者が製作会社（その後継者等も含む）に対して、原作に関する権利を独占的に譲渡することを定めています。

原作者が譲渡する権利は、第 10 条で原作者に留保される権利として明記されているものを除く、原作に関する一切の権利であり、具体的な例としては、以下のような権利が該当します。

- 原作のリメイク、新バージョン又は脚色作品、シリーズを作成する権利
- 広告及び宣伝目的に限って、原作のプロット、抜粋、要約を作成、放送、展示及び出版する権利
- 本作品及びその中に含まれるすべてのキャラクター及び要素に対するあらゆる権利

譲渡の対象となる地域は全世界（through the universe）で、期間は永久（in perpetuity）、利用態様は現存かつ将来開発される一切のメディアとなっています。具体的な例示として、劇場または非劇場における配給、無料放送、有料放送、有線放送、サブスクリプション、ペーパービュー、ビデオオンデマンド、DVD 及びインターネット配信があげられています。

日本では原作使用に際して権利許諾を行うことが多いのに対して、米国では権利譲渡を行う傾向にあります。両者の違いは、許諾の場合は許諾期間が満了したあとは、原作者が原作を自由

に利用できるのに対し、権利を譲渡してしまうとそれができないこととなります。もっとも、権利許諾を採用した場合でも、その許諾期間を映画の著作権の存続期間（公表後 70 年）のように長期間に定めると、原作者が原作を自由に利用できるようになるか疑義があります。原作の著作権の存続期間は原作者の死後 70 年ですから、その違いがでるとすれば、原作者の子の時代になってからのように思われます。

もう 1 点、大きな違いがあるとすれば、映画化権の侵害が生じた場合です。著作権の許諾を受けた者は、原則として著作権侵害を主張して差し止めや損害賠償を請求できないとされており、この場合には、許諾をした原作者が著作権者として著作権侵害の対応をすることとなります。他方で、映画化権を譲渡した場合には、映画化権に関する権利者は譲渡を受けた製作会社となるため、映画化権の侵害への対応は製作会社が行うこととなります。

#### **Article 7. PURCHASE PRICE:**

As consideration for all rights and property herein granted, and all warranties and covenants herein made by Owner, Producer agrees to pay Owner the following sums not later than the commencement of principal photography of a production:

- (a) \$ XXXXXX if the final budget for the motion picture (less contingencies, financing costs, and bank fees) based on the Work does not exceed two million dollars (\$2,000,000), less any moneys paid as option exercise money and less the option payment for the initial period;
- (b) If the final budget exceeds two million dollars (\$2,000,000), one percent (1%) of the final budget for the motion picture (less contingencies, financing costs, and bank fees) based on the Work less any amounts paid for option exercise; however, in no event shall the amount of such payment exceed fifty-thousand dollars (\$50,000).

第 6 条で譲渡される権利の対価を定めています。

支払時期は、主要な撮影を開始する前までとされており、対価については、映画の最終予算に応じて決まる仕組みです。

原作に基づく映画の最終予算（偶発事象、資金調達費用、及び銀行手数料を差し引いた金額）が 200 万ドルを超えない場合には、オプション行使金として支払われた金額と初期期間のオプション金額を差し引いた金額が対価となります。

また、映画の最終予算が 200 万ドルを超える場合には、最終予算の 1%（偶発債務、資金調達費用、及び銀行手数料を除く）からオプション権行使のために支払った金額を差し引いた金額



が対価となります。ただし、いかなる場合でも支払額が5万ドルを超えることはないと定められています。

**Article 8. ADDITIONAL COMPENSATION:**

- (a) **Contingent Compensation:** Producer also agrees to pay Owner XX percent (%) of one hundred percent (100%) of the producer’s share of proceeds from any production based on the Work for which Owner receives any other payment under this Agreement. “Producer’s Share of Proceeds” shall be defined, accounted for, and paid in the same manner for Owner as for Producer, whether Producer’s contingent compensation is called Net Profits, Adjusted Gross Profits, or otherwise.
- (b) **Bonus Compensation:** Producer shall pay Owner \$ XXXXXX in addition to any other money due Owner under this agreement upon the happening of the following: XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX.

製作会社が原作者に支払う追加報酬を定めています。

(a) Contingent Compensation は、原作に基づく成果物の売上からプロデューサーが得る取り分のうち一定割合を原作者に支払うこととされています。“プロデューサー取り分”は、名称の如何に関わらず、原作者と製作会社とで同じ方法で定義され、構成され、支払われるものとされています。

(b) Bonus Compensation は、一定の事象が生じた場合に追加で支払う報酬です。例えば、リメイクや続編、テレビシリーズなど新たな映像を製作・公開する場合などが考えられます。

**Article 9. CREDITS:**

- (a) In the event a motion picture based substantially on the Work is produced hereunder, Owner shall receive credit in the following form:  
Based on the novel by XXXXX  
or if the film has a different title from the Work, then:  
Based on the novel “XXXXXXXXXXXX” by XXXXX
- (b) Such credit shall be accorded on a single card in the main titles on all positive prints of the picture and in all paid advertising in which the director has received credit, subject to Producer’s and any distributor’s usual and customary exclusions. All other matters regarding prominence, placement, size, style and color of said credits shall be in

Producer's sole discretion. Nothing herein shall be construed to prevent so-called award or congratulatory or other similar advertising with respect to the material or Picture which omits the name of the Writer.

- (c) No casual or inadvertent failure of Producer to comply with the credit provisions hereof shall be deemed a breach of this Agreement. Within a reasonable time after receipt of written notice from Owner specifying a failure to accord proper credit in accordance with this Paragraph, Producer shall use good faith efforts to cure prospectively any such failure with regard to positive prints and/or advertising materials created after the date of Producer's receipt of such notice. Producer will contractually obligate third party licensees and sub-distributors with whom Producer is in privity of contract to comply with the credit obligations set forth herein, but shall not be responsible or liable to Owner for the failure of any such third party to comply with the same.

原作者のクレジットの扱いを定めています。

(a) 項では、原作に実質的に基づく映画が製作された場合、原作者は、“Based on the novel by 原作者氏名” というクレジットを受ける権利を有するとされています。ただし、映画のタイトルが原作のタイトルと異なる場合には、“Based on the novel “原作タイトル” by 原作者氏名” というクレジットになります。これらのクレジットは、ディストリビューター（配給会社等）において一般的かつ慣例的にクレジットを排除する場合を除いて、映画のすべての映像のメインタイトル及び監督のクレジットがあるすべての有料広告に単独で表示することとなっています。

また、(b) 項では、クレジットの表示方法、位置、サイズ、スタイルや色については、製作会社の単独の裁量に委ねられることが記載されています。

そして (c) 項では、製作会社がこのクレジットに関する規定を偶然または不注意で遵守できなかった場合でも、この契約に違反したとはみなされないとされており、その際の修正の手続についても定められています。また、製作会社は、ライセンシー等製作会社と第三者に対してもこのクレジット表示を義務づけていますが、第三者がこれに従わなかったことで製作会社が原作者に対して責任を負わないとされています。

#### **Article 10. RESERVED RIGHTS:**

All publication rights are reserved to Owner for Owner's use and disposition, including but not limited to the right to publish and distribute printed versions of the Work and author-written sequels thereof (owned or controlled by Owner) in book form, whether hardcover or softcover,

and in magazines or other periodicals, comics or coloring books, whether in installments or otherwise, subject to Producer's limited rights to use up to 10,000 words to promote and advertise the motion picture. Producer shall have the right of first negotiation and last refusal to enter an agreement such as this one with regard to any works created by Owner pursuant to this paragraph.

原作者に留保される権利を定めています。ここで明記された権利を除く一切の映画化に関する権利が第6条で製作会社に譲渡されることとなります。

ここでは一切の出版権が原作者に留保されており、具体的な例として、書籍及び雑誌その他定期行物、塗り絵等により、原作及び続編を出版し頒布する権利があげられていますが、これに限りません。ただし、映画のプロモーション及び宣伝のために1万語まで製作会社に使用させなければならないとされています。

また、製作会社には、この規定に従って原作者が創作した作品に関して、この契約と同じ契約を締結するための“RIGHT OF FIRST NEGOTIATION”（第一交渉権・第11条）と“RIGHT OF LAST REFUSAL”（最終拒否権・第12条）が与えられています。

#### **Article 11. RIGHT OF FIRST NEGOTIATION:**

If Owner desires to dispose of or exercise a particular right reserved to Owner herein (“Reserved Right”), then Owner shall notify Producer in writing and immediately negotiate with Producer regarding such Reserved Right. If, after the expiration of thirty (30) days following the receipt of such notice, no agreement has been reached, then Owner may negotiate with third parties regarding such Reserved Right subject to the next paragraph.

第10条で製作会社に付与された第一交渉権を具体的に定めています。

原作者が、第10条で定められた特定の権利（「留保権利」）を処分または行使しようとする場合には、原作者は製作会社に対して書面で通知し、留保権利について直ちに製作会社と交渉しなければならないとされています。

また、製作会社が通知を受領した後30日が経過しても合意に達しない場合には、原作者は、第11条の規定に従うことを条件として、かかる留保権利に関して第三者と交渉することができます。

#### **Article 12. RIGHT OF LAST REFUSAL:**

If Producer and Owner fail to reach an agreement pursuant to Producer's right of first negotiation, and Owner makes and/or receives any bona fide offer to license and/or purchase the particular Reserved Right or any interest therein in a context other than an auction (“Third Party Offer”),

Owner shall notify Producer, if Owner proposes to accept such Third Party Offer, of the name of the offeror, the proposed purchase price, and other such terms of Third Party Offer. During the period of ten (10) days after Producer's receipt of such notice, Producer shall have the exclusive option to license and/or purchase said Reserved Right upon the same terms and conditions of said Third Party Offer. If Producer elects to exercise the right to purchase such Reserved Right, Producer shall notify Owner of the exercise thereof within said ten (10) day period, failing which Owner shall be free to accept such Third Party Offer. If any such proposed license and/or sale is not consummated with a third party within thirty (30) days following the expiration of the aforesaid ten- (10-) day period, Producer's Right of Last Refusal shall revive and shall apply to each and every further offer or offers at any time received by Owner relating to the particular Reserved Right or any interest therein; provided, further, that Producer's option shall continue in full force and effect, upon all of the terms and conditions of this Clause, so long as Owner retains any rights, title, or interests in or to the particular Reserved Right.

第 10 条で製作会社に付与された最終拒否権を具体的に定めています。

第 1 文では、第 11 条に基づく第一交渉権に従って交渉を行ったが製作会社と原作者が合意に至らなかった場合で、かつ、オークション以外の方法で原作者が特定の留保権利についてライセンス・購入に関する真正な提案（「第三者提案」）を行ったり、受けたりした場合で、当該提案を受諾しようとするときは、製作会社に対し、提案者の氏名、提案された購入価格及び第三者提案のその他の条件を通知しなければならないと定めています。

また、第 2 文では、製作会社が上記通知を受領してから 10 日の間、製作会社は、当該第三者提案と同じ契約条件で、上記留保権利をライセンス・購入する独占的な選択権を有するものとされています。

そして、第 3 文により、製作会社が当該留保権利を購入する権利を行使することを選択した場合には、製作会社は原作者に対し、10 日以内に選択権を行使することを通知することで、原作者は第三者提案を受諾することができなくなります。

なお、第 4 文において、製作会社が第 1 文による通知を受領してから 10 日間が経過した後、30 日以内に原作者と第三者との間で提案されたライセンス・販売が完了しない場合には、製作会社の最終拒否権が復活し、特定の留保権利に関して原作者が随時受領する各提案について適用されることとなります。ただし、製作会社の選択権は、原作者が特定の留保権利を保有する限り、本条項に定める条件に基づいて、完全な効力を有し続けます。

原作者が留保した権利について、第三者にライセンスや譲渡する場合には、製作会社が最初に交渉し、それが不調に終わっても、原作者が第三者との間でまとめた条件で製作会社が第三者に先んじて留保した権利を取得できることとしたのが、第 11 条と第 12 条です。

第 4 文はわかりづらいですが、原作者が特定の留保権利を第三者にライセンス・譲渡した場合

でも、残りの留保権利をライセンス・譲渡使用とする場合は、製作会社が最終拒否権にかかる選択権を行使できることを確認したものといたします。

### **Article 13. NO OBLIGATION TO PRODUCE:**

While Producer shall use best efforts to effect a production hereunder, nothing herein shall be construed to obligate Producer to produce, distribute, release, perform or exhibit a film based upon the Work, in whole or in part, or otherwise to exercise, exploit or make any use of the rights, license, privileges or property gained herein to Producer.

製作会社が映画製作の義務を負わないことを定めています。具体的には、製作会社は、本契約に定める成果物を完成させるために最善の努力を払うものとしませんが、原作に基づく映画の製作、配給、公開その他この契約で得た権利を行使、利用する等が義務づけられると解釈されない旨を定めています。

### **Article 14. REPRESENTATIONS AND WARRANTIES:**

- (a) The Work itself is original with Owner and no part of the Work is in the public domain other than the extent to which historical facts are, by their nature, in the public domain;
- (b) Owner has the right, authority and legal capacity to grant the rights granted to Producer herein;
- (c) The Work is not subject to any claim, arbitration, mediation, or litigation.
- (d) The Work does not, and no use thereof will, infringe upon or violate any personal, proprietary or other right of any third party, including, without limitation, defamation, libel, slander or violation of any right of privacy or publicity or any copyright in underlying material; and
- (e) Owner shall not exploit the Work in a manner inconsistent with the terms of this Agreement, specifically, to not sell, license, exploit or transfer any rights in the Work.

原作者が製作会社に表明・保証すべき以下のような事項を定めています。

- (a) 原作は原作者が創作したもので、かつ歴史的事実が性質上パブリックドメインとなる範囲を除き、原作はいかなる部分もパブリックドメインではないこと。

- (b) 原作者は、この契約で定めた権利を付与することができる権利、権限及び法的能力を有すること。
- (c) 原作は、いかなる請求、仲裁、調停または訴訟の対象となっていないこと。
- (d) 原作は、基となった素材において名誉毀損、誹謗、中傷、またはプライバシー権やパブリシティ権あるいは著作権の侵害など第三者の人格、財産またはその他の権利を侵害しておらず、侵害することもないこと。
- (e) 原作者は、原作に関する権利を販売、ライセンス、利用または譲渡しないなど、この契約の条件と合致しない方法で原作を利用しないこと。

権利の帰属や侵害がないこと、契約に反した利用がないことを原作者に表明、保証させることで、契約締結時及びその後も製作会社においてこの契約通りに原作を使用することを担保しています。

#### **Article 15. REMEDIES:**

Owner recognizes and confirms that in the event of a failure or omission by Producer constituting a breach of its obligations under this Agreement, whether or not material, the damage, if any, caused Owner is not irreparable or sufficient to entitle Owner to injunctive or other equitable relief. Consequently, Owner's rights and remedies shall be limited to the right, if any, to obtain damages at law and Owner shall not have any right in such event to terminate or rescind this Agreement or any of the rights granted to Producer hereunder or to enjoin or restrain the development, production, advertising, promotion, distribution, exhibition or exploitation of the Picture and/or any of Producer's rights pursuant to this Agreement.

契約違反が生じた場合の原作者の救済措置について定めていますが、その内容はかなり限定したものとなっています。

第1文では、重大か否かを問わず、製作会社による不履行や不作為があった場合に原作者が被った損害は、差し止めやその他衡平法上の救済について回復不能または十分な権利を原作者に与えるものではないことを原作者は承認し、確認するとしています。

そして第2文では、上記の結果、原作者の権利及び救済は、法律上の損害賠償を受ける権利に限定されており、かつ原作者はかかる場合にこの契約またはこの契約に基づき製作会社に付与された権利を終了または取り消し、あるいはこの契約に基づく映画の開発、製作、広告、販促、配給、展示または利用を禁止または制限する権利を有しないとしています。

要約すれば、原作者の救済措置は、損害賠償の請求に限定され、契約の解除や権利付与の取り消し、製作会社による映画の利用を制限できないこととなります。

#### **Article 16. MISCELLANEOUS:**

- (a) Arbitration. Disputes under this Agreement shall be settled pursuant to binding arbitration under the rules of the Independent Film and Television Alliance (“IFTA”) in [STATE]. The prevailing party will be entitled to reasonable attorney fees and costs.
- (b) Indemnification. Owner shall indemnify and defend Producer from and against any and all claims and damages arising from the breach of any representation or warranty of Owner hereunder to the extent such claim or damage does not arise out of a breach by Producer hereunder. Producer shall indemnify and defend Owner from and against any and all claims and damages arising from the production, distribution, exhibition or exploitation of the Picture, or any element thereof, to the extent such claim or damage does not arise out of a breach by Owner hereunder.
- (c) Accounting. Producer agrees to keep and maintain complete and accurate books and records relating to the Picture and the proceeds derived therefrom.
- (d) Assignment. Owner may not assign its rights or obligations hereunder. Producer may freely assign its rights and obligations hereunder.
- (e) Choice of Law. This Agreement shall be governed by and construed in accordance with the laws of the State of [STATE].
- (f) Notices. All notices under this Agreement shall be in writing addressed to the addresses first set forth above, or at such other address as either party may designate from time to time by written notice to the other. All notices shall be served by facsimile and U.S. mail, electronic mail, recognized courier services such as Federal Express or DHL or personal delivery addressed as specified above. The date of receipt by facsimile, electronic mail or courier, as the case may be, shall be the date of service of notice.
- (g) This agreement may be signed in counterparts. Facsimile and scanned copies shall be deemed originals for all purposes.

- (h) Further Documents. Owner agrees to execute, acknowledge, and deliver to Producer and to procure the execution, acknowledgment, and delivery to Producer of any additional documents or instruments which Producer may reasonably require to effectuate fully and carry out the intent and purposes of this Agreement. If Owner shall fail to execute and deliver any such documents or other instruments, within ten (10) calendar days after such documents are delivered to Owner, Producer shall be deemed to be, and Owner irrevocably appoints Producer, the true and lawful attorney-in-fact of Owner, to execute and deliver any and all such documents and other instruments in the name of Owner, which right is coupled with an interest.
- (i) This Agreement constitutes the entire agreement between the parties hereto with respect to all of the matters herein and its execution has not been induced by, nor do any of the parties hereto rely upon or regard as material, any representations or writing whatsoever not incorporated herein and made a part hereof. No amendment or modification hereto shall be valid unless set forth in a writing signed by both parties.

一般的な契約条項がまとめて定められています、

- (a) 仲裁  
この契約に基づく紛争については、裁判所ではなく、裁判外紛争解決手続（ADR）である仲裁を利用することとしています。ここでは、Independent Film and Television Alliance という独立系の映画やテレビ番組製作者の事業者団体が提供している仲裁サービス<sup>1</sup>を利用することとしています。この場合、裁判所とは異なり、専門の弁護士が仲裁人となり紛争を解決することとなります。また、仲裁判断については原則として裁判所に上訴することはできず、1 回限りの手続となります。
  
- (b) 補償  
原作者は、製作会社による違反から生じたものでない限り、原作者のいかなる表明または保証（第 14 条）の違反から生じたすべての請求及び損害について、製作会社を補償かつ防御するとしています。  
また、製作会社は、原作者による違反から生じないたものでない限り、映画の製作、配給、

<sup>1</sup> こうした仲裁サービスについては、本サンプルで取り上げた Independent Film and Television Alliance が提供している仲裁サービス（参考 URL : <http://www.ifta-online.org/ifta-arbitration>）のほか、JAMS の提供する仲裁サービス（参考 URL : <https://www.jamsadr.com>）なども利用されている。



展示または利用から生じるすべての請求及び損害から原作者を補償かつ防御するとしています。

- (c) 会計

製作会社は、映画及び映画から得られる収益に関連する完全かつ正確な帳簿及び記録を保持しなければなりません。

- (d) 譲渡

原作者はこの契約上の権利義務を譲渡できません。これに対し、製作会社はこの契約上の権利義務を自由に譲渡できることとされています。

- (e) 準拠法

この契約に適用される法律を定めています。

- (f) 通知

本契約に基づくすべての通知は、書面で前文に記載された住所、またはいずれかの当事者が相手方当事者に書面による通知によって都度指定する他の住所宛に送ることとしています。また、すべての通知は、FAX 及び米国の郵便、電子メール、Federal Express や DHL など広く認められた宅配便、また前文で指定された住所への交付送達によって提供することとしています。FAX 番号や電子メールアドレスは前文では特定されていないので、前文に記載するなど明示しておくのがよいと思います。なお、FAX、電子メールまたは宅配便による受領日は、それぞれの通知の送達日と定めています。

オプション権の行使や留保権利に関する第一交渉権や最終拒否権の行使などについては、契約当事者間で意思表示が必要となります。この場合、意思表示が相手方に届かないリスクがありますので、どこに、どのような方法で送ればよいか、いつ到達したとするかを明確に定めておく必要があります、このような規定が置かれています。

- (g) この契約は複数の副本により締結することができ、FAX やスキャンされた写しも原本とみなすとしています。

- (h) 追加文書

原作者は、製作会社に対し、この契約の意図及び目的を十分に達成かつ実行するため合理的に要請される追加の文書や証書を、履行、承認、提供等することとしています。

また、当該文書が原作者に送達された後 10 暦日以内に、原作者が当該文書を提供しなかった場合には、製作会社は、原作者の氏名で当該文書を履行及び承認するため、原作者が製作会社を原作者の真正かつ合法的な代理人に指定したものとみなすとしています。

例えば、原作について原作者が権利を有するか否かを確認する必要性が生じ、原作を出版している出版社名義の確認文書を要請した場合、10 暦日以内に提供されない場合には、製作会

社は原作者を代理して、原作者名で出版社に確認文書の提供を求めることができますこととなります。

- (i) この契約書に記載されていることだけが法的に効力を発生することが明記されています。修正する場合も両当事者が署名した書面で行う必要があります。したがって、口頭でなされた約束は効力を生じないことに留意が必要です。

**IN WITNESS WHEREOF** the parties hereto have caused this Agreement to be duly executed and delivered as of the day and year first above written.

PRODUCER

OWNER

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

By: \_\_\_\_\_

SSN: \_\_\_\_\_

Its: Managing Member

- 前文で明記した日付が契約締結日となります、
- 署名は製作会社の業務執行役員が行う前提になっています。
- 原作者の SSN とは米国の社会保障番号のことを指しています。個人を特定するという趣旨であり、日本では住所で特定するのが一般的です。